

死について 考える心理学

企画

箱田 裕司
(京都女子大学)改田 明子
(二松学舎大学)

司会

箱田 裕司

2017 8.27 SUN

13:00~17:00 定員300名【入場無料】
(開場12:30)

■東京会場

東洋大学 白山キャンパス 6号館地下1階 6B12教室

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

▼地下鉄三田線 千石駅 A1出口から「正門・西門」徒歩8分 地下鉄三田線 白山駅 A3出口から「正門・南門」徒歩5分
東京メトロ南北線 本駒込駅 1番出口から「正門・南門」徒歩5分●案内図 <http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>

● 東京会場・京都会場

話題提供者	テーマ
下島 裕美 (杏林大学)	健常者による「死」の見積もり
改田 明子 (二松学舎大学)	緩和ケア病棟にて
小森 康永 (愛知県がんセンター中央病院 精神腫瘍科部)	ナラティブ・セラピー: 死を前にした自己の構築

いかに充実した老後を送ったとしても、いずれ人間は死に直面する。また、死は人が生きているかぎり常にそこにある。健常者が「死」をどう捉えているのか?死が間近に迫った人たちが「死」とどう向き合おうとしているのか?このことについて、緩和ケア病棟の患者たちに関わっている医師、サイコロジストの方々に話題提供をしていただき、患者たちが何を考え、今を生きようとしているのか、周囲はどう支えようとしているのかという問題について考えたい。

2017 9.3 SUN

13:00~17:00 定員180名【入場無料】
(開場12:30)

■京都会場

京都女子大学 C号館 308教室

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35

▼JR京都駅・四条河原町から京都女子大学までの直通バス「プリンセスライン」『京都女子大学前』で下車

●案内図 <http://www.kyoto-wu.ac.jp/access/index.html>

※参加希望の方は必ず事前にお申込みください。お申込みいただいていない方は、ご入場いただけない場合がございます。

お申込みはE-mail、Fax、往復はがきで、参加希望日・シンポジウム名を明記の上、住所・氏名・年齢と、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください。
(E-mailでの申込時は、件名に希望日・シンポジウム名をご記入ください。) ※各シンポジウムごとにお申込みを受け付けております。他のシンポジウムへの参加を希望される方は、別途お申込みください。

お知らせ頂いた個人情報は、シンポジウム受付の目的にのみ利用します。

お申込み
お問合せ

公益社団法人 日本心理学会

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル

Tel.03-3814-3953 Fax.03-3814-3954 E-mail:jpa-event@psych.or.jp <http://www.psych.or.jp/>